

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画
(美容科)

2年次)

- ・ 日本文化
- ・ サロンワーク

1年次)

- ・ 日本文化
- ・ サロンワーク

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 授業計画

記 号	B2025NB73
課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	日本文化
担 当 者	一般社団法人 埼玉県美容技術協会 間山 弘子・深山 裕孝・長島 光世・菊地真貴乃
区 分	選択
授 業 形 式	講義・演習・実習
開 講 年 次	1年次(前・後期)
授業時間(単位)	60時間(2単位)

教科書(発行所)	一般社団法人 埼玉県美容技術協会テキスト【和装講座】【浴衣】【新日本髪】
----------	--------------------------------------

授業の概要	和装着付け技術など日本独自の文化を学び、日本人ならではの「おもてなし」の心を養う。 日本髪の歴史を通して、また日本髪技術と日本文化を学ぶ。 浴衣の着付けの技術を身につける。	
期末考査	習熟状況審査のため、期末考査試験を実施するものとする。	
	時間	50分
	内容	指定課題の提出及び、日本髪の実技、着付け実習の成果を評価する。
	合否	A～Dの修得レベル段階評価。不合格をEとする。
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判定する。	
評価基準	評価基準は、下記の通りとする。 A:90~100点 B:80~89点 C:70~79点 D:60~69点 E:追・再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点	

実務経験のある教員による授業	間山 弘子	○	深山 裕孝	○	長島 光世	○
	菊地真貴乃	○				
実 務 経 験	美容所における美容師経験・美容師経験歴伝承 50年					
実 務 経 験 の 活 か し 方	上記経験をもとに日本の美容技術の伝承やおもてなしの心構えを指導 日本髪技術の伝承					

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	日本文化	担 当	一般社団法人 埼玉県美容技術協会 間山 弘子・深山 裕孝・長島 光世・菊地真貴 乃
-----	------	-----	---

(1年次・前期)

回	講 義 内 容	備 考
1	【マナー】	
2	着付け総論/着付けをする時の心得	
3	【浴衣①】 腰紐畳み方 補整・浴衣本畳み	
4	【浴衣②】 浴衣自装 男子（貝の口）女子（一文字）	
5	【浴衣③】 浴衣自装	
6	【浴衣④】 浴衣自装	
7	【和装とお参り】 七五三展示	
8	【浴衣⑤】 浴衣自装	
9	【新日本髪①】 アップ、まとめ髪の基本	
10	【新日本髪②】 ピンの打ち方、ゴムの結び方	
11	【新日本髪③】 逆毛の立て方、すき毛の目的と必要性	
12	【新日本髪④】 きれいな面を作る、 バランスの取り方、飾りの付け方	
13	浦和踊り	
14	浦和踊り	
15	浦和踊り	

B2025NB73

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	日本文化	担 当	山田美智子・間山弘子・長島光世・菊地真貴乃
-----	------	-----	-----------------------

(1年次・後期)

回	講 義 内 容	備 考
16	歳時記	
17	【小物づくり①】扇子	
18	【小物づくり②】扇子	
19	【和装とお参り】七五三展示	
20	【浴衣①】浴衣他装	
21	【浴衣②】浴衣他装 帯結びアレンジ	
22	【競技会練習①】浴衣他装	
23	【競技会練習②】浴衣他装	
24	【競技会練習③】浴衣他装	
25	【文楽鑑賞】芸術鑑賞	
26	【文楽鑑賞】芸術鑑賞	
27	【文楽鑑賞】芸術鑑賞	
28	競技会	
29	競技会	
30	競技会	

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 授業計画

記 号	B2025NB72
課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	日本文化
担 当 者	一般社団法人 埼玉県美容技術協会 (間山 弘子・堀越 智子・巴 志穂・鷹木 絵美)
区 分	選択
授 業 形 式	講義・演習
開 講 年 次	2年次(前・後期)
授業時間(単位)	60時間(2単位)

資料書(発行所)	日本文化【街着】(一般社団法人 埼玉県美容技術協会テキスト)
----------	--------------------------------

授業の概要	和装着付け技術など日本独自の美容の文化を学び、日本人ならではの「おもてなし」の心を養う。着付けの自装ができるようになる。	
期末考査	習熟状況審査のため、期末考査試験を実施するものとする。	
	時間	50分
	内容	指定課題の提出及び着付け実習の成果を評価する。
	合否	A~Dの修得レベル段階評価。不合格をEとする。
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判定する。	
評価基準	評価基準は、下記の通りとする。 A:90~100点 B:80~89点 C:70~79点 D:60~69点 E:追・再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点	

実務経験のある教員による授業	間山 弘子	○	巴 志穂	○	鷹木 絵美	○
	堀越 智子	○				
実 務 経 験	美容所における美容師経験					
実 務 経 験 の 活 か し 方	上記経験をもとに日本の美容技術の伝承やおもてなしの心構えを指導					

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	日本文化	担 当	一般社団法人 埼玉県美容技術協会 間山 弘子・堀越 智子・巴 志穂・鷹木 絵美
-----	------	-----	--

(2年次・前期)

回	講 義 内 容	備 考
1	マナー	
2	【浴衣①】復習、技術確認、補整 自装（男子貝の口、女子一文字結び）	
3	【浴衣②】相モデル 自装・他装（帯アレンジ男子侍結び）	
4	【浴衣③】確認テスト	
5	【ハーフアップ】 編みおろし1本 （編み込み、くずし、まとめ）	
6	【アップ】 （パーツ分けして1つのスタイルに）	
7	【タイトルに合わせたアップ】ショート・ミディアム ・ロング巻き、まとめ、WAXのつけ方・飾りのつけ方	
8	【タイトルに合わせたアップ】ショート・ミディアム ・ロング巻き、まとめ、WAXのつけ方・飾りのつけ方	
9	【タイトルに合わせたアップ】ショート・ミディアム ・ロング巻き、まとめ、WAXのつけ方・飾りのつけ方	
10	【街着①】相モデル 補整（タオル・巻きガーゼ）	
11	【街着②】 補整～長襦袢	
12	【街着③】 補整～長襦袢～着物	
13	【街着④】 補整～長襦袢～着物～帯	
14	【小物作り①】 留袖を袱紗にリメイク	
15	【小物作り②】	

B2025NB72

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	日本文化	担 当	山田 美智子・間山弘子・堀越 智子・巴志穂
-----	------	-----	-----------------------

(2年次・後期)

回	講 義 内 容	備 考
16	歳時記	テキスト 教室
17	【街着①】 前期からの復習（補正→長襦袢→着物→帯）	テキスト 多目的室
18	【街着②】 前期からの復習（補正→長襦袢→着物→帯）	多目的室
19	【街着③】 2人1組、ボディで練習	テスト 多目的室
20	【袴①】 街着・半幅帯（一文字）、畳み方	多目的室
21	【袴②】 街着・半幅帯（一文字）、畳み方	多目的室
22	【お茶の講習】茶事、その他	
23	【お茶の講習】茶事、その他	
24	【お茶の講習】茶事、その他	
25	【競技会練習①】街着・ボディ	
26	【競技会練習②】街着・ボディ	
27	【競技会練習③】街着・ボディ	
28	競技会	
29	競技会	
30	競技会	

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 シラバス

記 号	B2025SW73
課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	サロンワーク
担 当 者	吉野 貴子、中出 記久美、野村 彩佳、遠藤 亮樹
区 分	選択
授 業 形 式	実験・実習・実技
開 講 年 次	1年次 後期
授業時間(単位)	30 時間 (1 単位)

教科書 (発行所)	ビジネスマナー (公益社団法人 日本理容美容教育センター) 美容実習 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)
-----------	---

授業の概要	ロールプレイング等を交えより実践的な技能修得を目指す。技術ばかりでなく、技術と接客を並行に行えるように職業実践的な授業を反復トレーニングする。	
期末考査	習熟状況審査のため、期末考査試験を実施するものとする。	
	時間	50 分間
	内容	教科書の内容を中心に、教材プリントなどより出題する
	合否	100 点満点中 60 点をもって合格とする。
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判定する。	
評価基準	評価基準は、下記の通りとする。 A:90~100点 B:80~89点 C:70~79点 D:60~69点 E:追・再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点	

実務経験のある教員による授業	吉野 貴子	<input type="radio"/>	中出 記久美	<input type="radio"/>	野村 彩佳	<input type="radio"/>
	遠藤 亮樹	<input type="radio"/>				
実 務 経 験	美容所における美容師経験					
実 務 経 験 の 活 か し 方	上記経験をもとにサロン現場における接客指導を行う					

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	サロンワーク	担 当	吉野 貴子、中出 記久美 野村 彩佳、 遠藤 亮樹
-----	--------	-----	------------------------------

(1年次・後期)

回	講 義 内 容	備 考
1	ビジネスマナー 挨拶と表情 身だしなみ	
2	理容科と交換授業 シェービング	
3	理容科と交換授業 メンズショート①	
4	理容科と交換授業 メンズショート②	
5	理容科と交換授業 刈り上げ①	
6	理容科と交換授業 刈り上げ②	
7	相モデル デザイン巻き① デザインを考えて発表	
8	相モデル デザイン巻き② ロットを巻きヘルプ作業	
9	相モデル デザイン巻き③ ロットを巻きヘルプ作業	
10	基本動作 立ち方とお辞儀	
11	基本動作 物の授受 案内の仕方	
12	電話対応の仕方	
13	名刺交換の仕方	
14	敬語の試験	
15	お礼状の書き方	

B2025SW73

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 シラバス

記 号	B2025SW72
課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	サロンワーク
担 当 者	原田 怜・本橋 孝則・橋本 有美・佐々木 祐輔・山田 太子
区 分	選択
授 業 形 式	実験・実習・実技
開 講 年 次	2年次(前期)
授業時間(単位)	30時間(1単位)

教科書(発行所)	ビジネスマナー(公益社団法人 日本理容美容教育センター)
----------	------------------------------

授業の概要	美容実習等で学んだ技能を活かし、実践的な技能修得を目指す。技術の基礎を復習しながら、更に高いレベルの技術習得を学ぶ。	
期末考査	習熟状況審査のため、期末考査試験を実施するものとする。	
	時間	50分間
	内容	教科書の内容を中心に、教材プリントなどより出題する。
	合否	100点満点中60点をもって合格とする。
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判定する。	
評価基準	評価基準は、下記の通りとする。 A:90~100点 B:80~89点 C:70~79点 D:60~69点 E:追・再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点	

実務経験のある教員による授業	原田 怜	○	本橋 孝則	○	橋本 有美	○
	佐々木 祐輔	○	山田 太子	○		
実 務 経 験	美容所における美容師経験					
実 務 経 験 の 活 か し 方	上記経験をもとに美容技術の実践に伴った美容技術の指導を行う					

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	サロンワーク	担 当	原田 怜・橋本 有美・佐々木 祐輔・山田 太子・ 本橋 孝則
-----	--------	-----	-----------------------------------

(2年次・前期)

回	講 義 内 容	備 考
1	【新社会人になるにあたって】心構え、学ぶ姿勢	
2	マナーと一般教養	
3	バックシャンプー ①	
4	バックシャンプー ②	
5	バックシャンプー ③	
6	バックシャンプー ④	
7	夢シャンプー ①	
8	夢シャンプー ②	
9	夢シャンプー ③	
10	夢シャンプー ④	
11	夢シャンプー ⑤	
12	実践的なアップスタイル ①	
13	実践的なアップスタイル ②	
14	実践的なアップスタイル ③	
15	実践的なアップスタイル ④	

B2025SW72